



【課題2】

アイヌ民族に関する学習を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

①児童生徒・学校の実態

～学習などについてのアンケートから～

- ・「自分にはよいところがある。」「自分が必要とされている。」と感じている子が多い反面、学年が上がるとその割合が低くなる傾向がある。

～日常の様子から～

- ・かがやき活動（異学年交流）や行事への取組（体育大会など）を通して、様々な学年の子との関わりが多い。「お師匠さんとお弟子さん」という呼び方が定着しており、下級生に優しく接する上級生の姿や上級生にあこがれる下級生の姿が見られる。

～アイヌ民族に関する学習～

- ・本校は、アイヌ文化出前体験プログラムを長年活用している。学校ホームページでもその様子を公開しているため、子どもたちや保護者の認知度も高い。

②ねらい(目標)

- ・アイヌ民族の文化や考え方を学ぶ学習を通して、偏見や差別をなくし、支え合い励まし合う温かい人間関係の中で、他者から学ぶ謙虚さをもちながら、心豊かにしなやかに生きようとする態度を育む。

③活動内容

- ・資料を活用して学ぶ「アイヌ民族の昔とくらしと今につながる文化」
- ・「アイヌ文化出前体験事業」
～講話、伝統楽器披露・舞踊体験
民具・衣服の説明、家屋等の説明
子ども遊び体験、質問コーナー

- ・7月 「人間尊重の教育」推進事業全体構造の作成
学習指導計画の作成
- ・8月 教材研究・指導案の作成
- ・9月 4年生授業公開
- ・10月 アイヌ文化出前体験事業
- ・12月 振り返り・まとめ

人間尊重の意識の高まり

1. 授業を通して
アイヌ民族の文化・
考え方を学ぶ2. 体験を通して
理解を深める3. 学んだことを
自分たちの生活
とつなげる



【課題2】

アイヌ民族に関する学習を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

④成果

キーワード化

➡日常生活の中での意識の高まり
アイヌ民族の考え方を「3つの共生」としてキーワード化し、自分の生活と結びつけて考えさせることで、子どもたち一人一人の人間尊重の意識を高めることにつなげることができた。

また、教材研究や授業交流を通して、教職員自らの人間尊重の意識を高めるとともに「人間尊重の教育」の重要性を再確認することができた。

3つの共生

- ① 子ども（村の宝として）やお年寄り（尊敬の対象として）を大切にす社会
- ② 物を（神として）大切に、人間は自然に守られているからこそ自然と共に生きる社会
- ③ 十分な話し合いで解決し、豊かな生活につながる平和な社会

⑤課題

アイヌ民族に関する学習

➡他の学習にも広げる

今回の取組は、学習を通して人間尊重の意識を高めることの一つのモデルケースとなった。それをアイヌ民族に関する学習以外にも広げ、どのような取り組みができるのか具体的に検討する必要がある。

継続・持続

子どもたちも教職員も今回の取組を通して人間尊重の意識を高めることができた。また、日常生活の中でも意識の高まりを持続できる学習展開・単元構成を考えたが、ねらい通りに子どもたちの中で人間尊重の意識が育まれているのかは、検証していく必要がある。

⑥今後の取組の方向性

年間指導計画への位置づけ

➡様々な角度からの取組

今回は、アイヌ民族に関する学習を窓口人間尊重の意識を高めるための取組を行った。今後は、各学年の年間指導計画の中に人間尊重の教育への取組を位置付け、学校全体として取り組んでいきたい。

指導資料の共有化・交流

➡

個の取組を学校全体のものとして共有化し、星置東小学校の「人間尊重の教育」をさらに充実させていく。



[課題2]アイヌ民族に関する学習を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

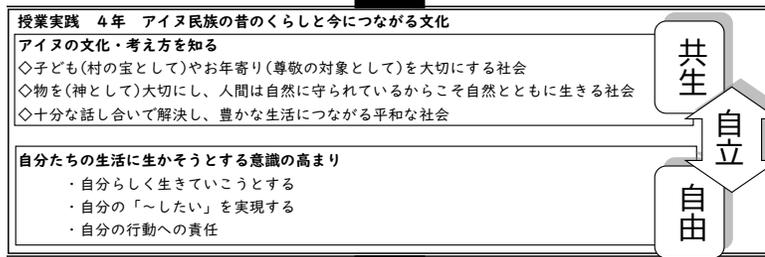
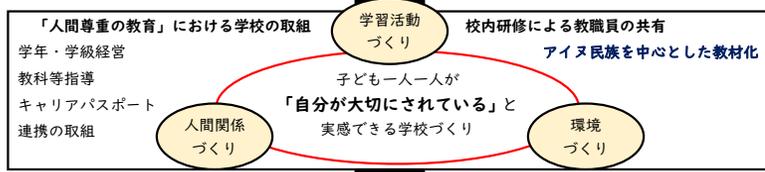
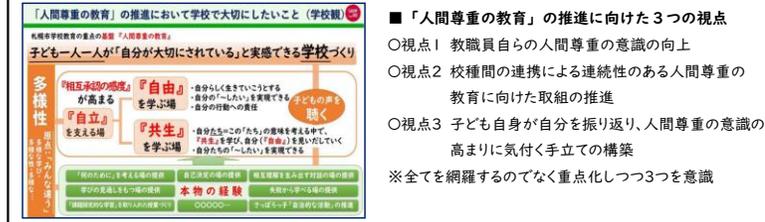
全体構造図

令和5年度「人間尊重の教育」推進事業 星置東小学校全体構造図

【研究事業1】多様性に向き合う学校教育の推進
 【課題2】アイヌ民族に関する学習を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

■目的
 札幌市学校教育の重点の『基盤』に位置付けている「人間尊重の教育」について、「学習活動づくり」・「人間関係づくり」・「環境づくり」を相互に関連させて取り組み、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりの一層の推進を図る。

■基本的な考え方
 広い視野をもち同僚性を発揮しながら、様々な人権課題に向き合い、教職員自らが相互承認の意識を高めるとともに、誰一人取り残さず、全ての子どもの可能性を引き出していけるよう、[課題2]では、「アイヌ民族に関する学習」を窓口、人間意識を高める教育活動や学校づくりを推進する。



星置東小学校の達成目標
 □協働的な学びによる人間尊重の意識の高まりと「相互承認の態度」の高まり【児童】
 □教職員自らの人間尊重の意識の向上と「相互承認の態度」を高めるための関わり【教職員】

単元構成

令和5年度「人間尊重の教育」推進事業
 【研究事業1】多様性に向き合う学校教育の推進
 【課題2】アイヌ民族に関する学習を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

学習指導案 社会科「アイヌ民族の昔の暮らしと今につながる文化」
 2023(令和5)年9月27日(水)3校時 授業者 4年

1. 単元の目標
 【知識・技能】
 ・アイヌ民族の昔の衣食住や遊びなどについて調べ、アイヌ民族が自然を生かした暮らしをしていたことを理解することができる。
 【思考力・判断力・表現力】
 ・自然と共存する生活の仕方に着目し、アイヌ民族の昔の生活の様子や文化を捉え、アイヌ民族の自然の生かし方を考え、表現することができる。
 【主体的に学習に取り組む態度】
 ・アイヌ民族の昔の暮らしや今につながる文化について、主体的に問題を解決しようとして、自然を大切にすることを考えることができる。

2. 単元構成
 ～これまでの社会科の学習では、現在の北海道・札幌について学んだね。これからの社会科では、これまでの北海道・札幌について残されたものについて考えよう。

①②「どんなものが古くから残されてきたのかな。」
 ↓
 残されてきたものには、そこにかかわる人々が残したいという思いがあるんだね。
 ↓
 どんな思いから残されてきたのかな？詳しく調べてみよう。

③④ 札幌時計台
 ⑤⑥ 姥神大神宮渡御祭り
 ⑦⑧ 江差差分
 人々の思い
 残すための努力・工夫
 ↓
 みんなが大切に思っているんだね。

北海道にもっと昔からいるアイヌ民族はどんな生活していたの？

⑨⑩⑪ ・人を大切にする社会
 ・物や自然を大切にする社会
 ・対話を大切にしたい平和な社会
共生
 ↓
 人や物、自然を大切にして生活しているんだね。

⑫⑬⑭ アイヌ民族の考え方を現代に生きる私たちの学校生活に生かそう。
 ↓
 +アイヌ文化出前体験プログラム・アイヌ民具の活用

3. 「人間尊重の教育」にかかわって
 ～アイヌ民族に関する学習を窓口人間尊重の意識を高める～

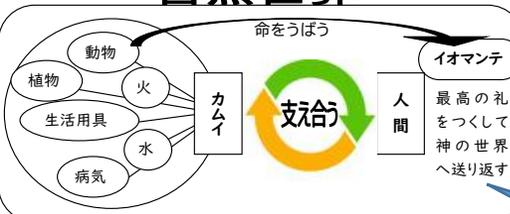
札幌市では、学校教育の重点に「人間尊重の教育」を位置付け、子どもが互いの個性や多様性を認め合い、心豊かにしなやかに生きようとする態度を育む取組を推進している。本校では、アイヌ民族の文化や考え方の学習を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、支え励まし合う温かい人間関係の中で、他者から学ぶ謙虚さをもちながら、心豊かにしなやかに生きようとする態度を育んでいきたい。

「共生」を学ぶ場
 ①子ども(村の宝として)やお年寄り(尊敬の対象として)を大切にできる社会→人との共生
 ②物を(神として)大切に、人間は自然に守られているからこそ自然とともに生きる社会→自然との共生
 ③十分な話し合いで解決し、豊かな生活につながる平和な社会→世界との共生
 +
 「自由」を学ぶ場
 ○自分らしく生きていこうとする
 ○自分の「～したい」を表現できる
 ○自分の行動への責任
 ↓
 ↓
 一人一人の自立

[課題2]アイヌ民族に関する学習を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

本時案

4. 本時の目標	
・アイヌ民族の行っている取組を資料をもとに紐といていくことを通して、アイヌ民族の自然と共に生きる大切さについて考えることができる。【思考力・判断力・表現力】	
5. 本時について (10/14 時間)	
学習展開	教師のかかわり
<p>〈前時までに〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アイヌ民族のものの考え方・生き方について以下の2点をおさえている。 <ol style="list-style-type: none"> 子ども(村の宝として)やお年寄り(尊敬の対象として)を大切にできる社会 十分な話し合いで解決し、豊かな生活につながる社会 これまで学んできたアイヌ民族の考え方・生き方を自分や今の世の中に生かせないかを考えながら学習をしている。 	
 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">儀式みたいなことをしているよ!</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">クマがかわいそうだよ...</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人は大切にしていたのに...</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">あれ?</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">他の生き物は大切にしているのかな?</div> </div>	<p>セルフチェック2 写真を掲示し、そこから読み取れることを存分に出させることで、これまでの学習で学んできたこととの違いに気づき「あれ?」を生む。</p>
<p>アイヌ民族は、生き物や自然についてどのように考えているのだろう。</p> <div style="text-align: center;"> <p>自然世界</p>  </div> <p>命をうぼう</p> <p>カマイ</p> <p>イオマンテ</p> <p>人間</p> <p>最高の礼をつくして神の世界へ送り返す</p>	<p>セルフチェック3 「わたしたちの札幌」だけではなく、補助教材「アイヌ民族:歴史と現在」を活用することで、理解を深められるようにする。</p>
<p>ものを大切に、人間は自然に守られていると考えているからこそ、アイヌ民族は、自然も大切に、ともに生きようと考えているんだね。</p>	
<p>〈振り返り〉 今の世の中は...</p> <p>自分ができることは...</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">物を大切にしていない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">食品ロスが多いな</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">環境破壊が進んでいる</div> </div>	<p>セルフチェック6 アイヌ民族のものの考え方・生き方と今の世の中の現状を照らし合わせることで学びを生かすよきを実感させる。</p>
<p style="text-align: center;">アイヌ民族の考え方を生かしていこう!!</p>	

板書



4年生、4学級がそれぞれ違う4場面を公開し、1時間の授業だけでは分からない「単元全体を通した取組」や「人間尊重の教育へのつながり」を意識した授業作りを学び合いました。

グループ交流など意見交流の場面も多く設定しました。交流を通して、考えを共有したり、自分の考えと他の子の考えの違いを知ったりすることは、学んだことを単なる知識で終わらせるのではなく、一人一人が自分事として考え、一人一人の人間尊重の意識を高めることにつながりました。

【課題2】アイヌ民族に関する学習を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

アイヌ文化体験プログラム



体験を通して

- ・アイヌ文化を身近に感じる
- ・資料からの知識が、実感を伴う学びへ
- ・対話を通して生活や考え方をより深く学ぶ

↓
理解が深まる

アイヌ民具体験

